

血管外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	遠位バイパスにおける静脈グラフト径がその開存および遠隔期治療成績に与える影響
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）外科学講座血管外科 （職名）教授 （氏名）児玉章朗
研究の対象となる方	2013年1月1日から2022年12月31日までの間に、下肢閉塞性動脈硬化症、重症下肢虚血に対して、遠位バイパスを行った患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年12月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 遠位バイパス術（下腿3分枝より遠位に末梢吻合を行うもの）を行った患者さんの静脈グラフト径がその開存や遠隔成績に影響をあたえるか検討することを目的としています。 〔利用方法〕 個人が特定できない形式でデータのみを使用します。 〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし、メール配信によりJA広島総合病院へ提供します。 〔外部への提供開始日〕 研究実施承認後
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：「非該当」 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、手術日、身長、体重、高血圧、脂質異常、糖尿病、冠動脈疾患、脳血管疾患、喫煙歴（現喫煙）、心不全、維持透析、慢性腎臓病、内服詳細、病変背景、バイパス手術詳細、入院中成績（30日以内）、遠隔成績
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	JA広島総合病院 心臓血管外科 主任部長 小林平
試料・情報を利用する学外の者	大阪大学大学院医学系研究科 病院臨床検査学講座 高原充佳
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年12月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。

場合	
外国への試料・情報の提供	「非該当」
問い合わせ先	<p>愛知医科大学医学部 外科講座 血管外科</p> <p>担当者：(職名) 准教授 (氏名) 川井陽平</p> <p>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</p> <p>電話 0561-62-3311 (内線 22140)</p>